

令和2年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 生命の星・地球博物館

(評価基準) 達成度	達成 (目標値 \geq 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 \geq 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検		第三者評価	
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向	評価のコメント及び今後の方向性等の提言
利用状況	満利 足用 度者	84 %	来館者のニーズを把握し、魅力ある施設づくりに務める。	96.2%	○	来館者のニーズを把握し、引き続き魅力ある施設づくりに務める。	
	入 館 者	238,354 人	より効果的な広報を実施し、さらに利用促進をはかる。	109,592 人	×	感染症拡大防止に配慮しながら利用促進をはかる。	
	業 教 育 ・ 普 及 事 業 への 参 加 者	15,814 人	魅力ある行事づくりをさらに進める。	1,041 人	×	オンライン講演会や出前講座などさまざまななかたちでの学習支援活動を検討していく。	
	セ ン タ ー ネ ッ ト ア ク ス	430,909 件	利用者視点に立った情報や記事を増やし、サイトの魅力をさらに増す。	479,259 件	○	利用者視点に立った情報の提供、オリジナルで時流に沿った記事をさらに増やすことによって、サイトの魅力を向上させ、アクセス数の増加を促す。また、「ウェブで楽しむ地球博」のコンテンツ等をさらに充実させる。	
資料・ 収蔵品	活 用	館外貸出 (研究) 17,650 (以外) 1,391 点	外部研究者との連携をさらに密にする。同時に、資料の蓄積を進め、利便性をさらに高める。	(研究) 17,156 (以外) 1,299 点	△	外部研究者との連携をさらに深めると同時に、資料のさらなる蓄積、信頼のおける資料収集と資料に関連する情報の発信につとめ、資料利用をさらに活性化させる。	
	維 持 管 理	棄損無し	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。	棄損無し	○	IPMの考えに基づき、館内の温湿度モニタリングを実施し、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。	
調査研究	(研究 成果の 公開 (発表・ 印刷物 等)	学術著作 90 普及著作 72 件	外部研究者との連携をさらに密にし、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	学術著作 101 普及著作 84 件	○	引き続き外部研究者との連携を進め、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさらに積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	

情報発信	事業情報の発信	526 件	利用者視点に立った情報を、記事の内容と合わせて更新する。	603 件	○	利用者視点に立った情報の提供、オリジナルで時流に沿った記事をさらに増やすことによって、サイトの魅力を向上させ、アクセス数の増加を促す。また、「ウェブで楽しむ地球博」のコンテンツ等をさらに充実させる。
	観覧料収入及び事業等収入	観覧料 49,671 事業収入 3,084 千円	魅力あるテーマによる特別展・企画展の開催など、来館者増に繋がる各種の取組みを積極的に実施する。	観覧料 29,074 事業収入 1,338 千円	×	魅力ある特別展、企画展の開催や、幅広い内容の講座や講演会など、来館者増に繋がる各種の取組みを実施する。
	施設点検	点検を実施する	防火・防災について、来館者視点での点検を継続して実施する。	点検を実施した		引き続き、来館者視点での点検を実施し、安全、安心を確保する。
施設運営等	自己研鑽及び他館の研究					

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。